

## 薬剤科 から こんにちは！ チーム医療における薬剤師の役割

<チーム医療>とは、1人の患者様に、複数の医療スタッフが連携して、治療やケアに当たることです。当院に入院される脳卒中の患者様や肺炎による廃用症候群の患者様などは、ご高齢の方が多く、多種多様なリスク（糖尿病や高血圧等の慢性疾患や病気の再発、合併症）を抱えていらっしゃいます。そのような状況下で、障害の改善、家庭復帰を支援することとなります。そのためには医師・看護師のみならずその他の多くの専門職が患者様の日常生活を基本とした関わりが重要であり、多職種がチームを構築してはじめて、効率的に質の高い医療サービスを提供でき、安心できる地域生活に繋げていくことが可能となります。薬剤師もチームの一員であり、薬剤師に何ができるか、どのように役立てられるかについてお話ししたいと思います。

薬剤師は、“くすり”を扱う専門家として、単なる調剤業務にとどまらず、薬が「効果的に」「安全に」使用できるよう、薬の情報提供や薬歴管理、副作用情報の把握や服薬方法の説明などを行います。投薬による副作用や、有効性、相互作用や重複投与の確認を行い、場合によっては処方の変更を医師に提案することもあります。

当病院には、感染対策チーム、栄養サポートチームなどがあり、多職種の医療スタッフの連携により、病院の問題改善に取り組んだり、また一人ひとりの患者様へ最適な治療やケアを行うための話し合いを行っています。

感染対策チーム（ICT）は、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師によって構成され、様々な職種が連携しながら、最善の感染対策ができるように努めています。感染対策は、“感染症の有無にかかわらず”日常的な実践が感染予防に繋がります。外来・入院患者様、ご家族、職員など、病院に関わるすべての人を守るため、また、感染症を広げないために、継続した職員教育やサーベイランスを行い、院内の感染対策の質の向上に向けて取り組んでいます。

栄養サポートチーム（NST）は、適切な栄養療法を選択し、栄養状態の改善から治療効果をもたらす、医療の

質を高めることを目的としています。栄養状態が悪いと病気の治りが遅くなるばかりか、合併症を引き起こす原因ともなります。患者様の栄養状態を評価して、低栄養などで栄養管理が必要な場合に、医師・薬剤師・管理栄養士・看護師・臨床検査技師・言語聴覚士などのチームスタッフが連携し、それぞれの専門の立場から意見を出し合って、患者様にあった必要なエネルギーや栄養素を管理し、早期回復・治療を進めています。このチームでの薬剤師の役割は、輸液成分（水・電解質・糖質など）の確認、高カロリー輸液の提案や情報提供などを



することです。患者様の療養生活を支える存在として、それぞれが各自の業務をこなしながらお互いを理解し合い連携している「チーム医療」。私たち薬剤師は、チーム医療に積極的に参画し、チーム医療における協働を進めるとともに、質の高い薬物療法の提供を目指しています。

薬剤科 係長 佐敷 暢子

## 第二回 在宅療養を支える仲間のための勉強会 9月8日(木) 於:当院5階 地域研修センター



今回は、高橋院長、藤原管理栄養士、上田作業療法士の3名が講演を行いました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。次回は、11月開催を予定しております。ご参加お待ちしております。

## 琵琶湖中央病院の基本方針

1. 診療、看護、療養支援、リハビリテーションの実践に最善をつくします。
2. 患者の意思を尊重し、科学的根拠と倫理観に基づき、安全と安心の医療を提供します。
3. 地域の医療機関との、きめ細やかで深い連携と協力で地域社会に貢献します。
4. すべての職種のたゆまぬ研鑽により、質の高いチーム医療をめざします。
5. 職員の育成に努めるとともに、職員が働きがいと充実感の持てる職場づくりをめざします。